

第2期宮津市社会福祉協議会財政健全化・経営安定化計画

中間（案）

令和7年3月

社会福祉法人 宮津市社会福祉協議会

目 次

1. はじめに	．．．	1
「第2期宮津市社会福祉協議会財政健全化・経営安定化計画策定」にあたり		
2. 第2期宮津市社会福祉協議会財政健全化・経営安定化計画の概要	．．．	2
3. 計画の内容	．．．	3～
＜目標及び重点目標＞	．．．	3～4
＜個別目標＞	．．．	5～8
4. 5年間 収支状況及び各サービス区分の状況	．．．	9～17
5. その他	．．．	18～
● 取組みの経過、今後の進め方、委員会構成	．．．	18～19

はじめに

「第2期宮津市社会福祉協議会財政健全化・経営安定化計画」策定にあたり

社会福祉法人 宮津市社会福祉協議会
会 長 小 田 和 夫

過去、宮津市社会福祉協議会（以下、「本会」）は宮津市の財政改革に伴う受託や補助金の削減、また会費収入及び介護保険収入の伸び悩み等によって財政事情が悪化し、経常収支の赤字を積立基金取崩しによって収支のバランスを維持してきました。

収益事業が少なく、営利を目的としない本会の活動財源は、市民の皆様による社協会費や寄付金、共同募金、宮津市や京都府社会福祉協議会からの受託や補助金、そして公的な介護保険事業等の収益が主なものです。平成24年頃までは介護保険事業等の収益もあり、財政収支は安定的に推移してきましたが、財政事情の悪化により平成25年度から毎年約1,000万円の赤字を積立基金取崩しで賄う赤字経営を余儀なくされてきました。

結果10年前に1億1,900万円あった積立金は、平成30年度末には5,000万円まで減少し、このまま放置すれば2、3年で枯渇する危機的な状況であったことから、平成30年度に財政健全化検討委員会を立ち上げ、「第1期宮津市社会福祉協議会財政健全化・経営安定化計画（3ヶ年）」を策定し、令和2年度以降3年以内に積立基金の取崩しがない財政収支構造を目指すことを基本方針として計画を遂行してきました。

計画期間中、収入においては、普通会費の値上げや新規事業の受託、利用料の値上げ等により増収となった一方で、介護保険事業等の経営不振により収入は大きく減少し、計画遂行前の令和元年度と令和5年度を比較すると約10%の収入減となりました。

また支出においては、人件費の削減、事業費や事務費の合理化、事業廃止、活動助成金の削減を行い、令和元年度と令和5年度を比較すると約15%の支出削減となりました。

結果、計画の遂行により赤字額や基金取崩し額は減少しましたが、収入の減収が響き、今なお厳しい経営が続いています。なお令和7年3月末現在では、基金残は2,200万円であり、このままいけば、およそ5年で基金は枯渇します。

本会の事業は大きく2つに分かれます。本来の役割である法人運営事業やボランティア事業など「地域福祉推進を目的とした事業」と、「介護保険事業等公的なサービスを提供する事業」です。いずれの事業も本会にとって必要不可欠な事業ですが、今後、ますます社会情勢の変化や人口減少、収入や人材確保が困難と予測される中で、本会が存続していくためには、これら全ての事業について見直しや廃止を含めさらに踏み込んだ改革が必要です。

そのためにも「第2期宮津市社会福祉協議会財政健全化・経営安定化計画（3ヶ年）」を策定し、次の目標と取組みを掲げながら、本会の経営改善に向け取組みを進めてまいります。

第 2 期宮津市社会福祉協議会 財政健全化・経営安定化計画の概要

＜策定の趣旨＞

高齢化や地方経済の減速化、本市においては行政改革に伴う補助金等の削減、各事業収入の減収などにより本会の財政状況が深刻化してきた中、令和 2 年 4 月 1 日から 3 年間、「宮津市社会福祉協議会財政健全化・経営安定化計画」を策定し、本会の財政健全化に向け取り組んできました。

この間、新型コロナウイルスの感染拡大防止等により社会や経済はもちろん、私たちの暮らしや地域活動等にも大きな影響を与える出来事が発生しました。

こうした中においても、本会の財政健全化の取組みに一定の成果はありましたが、当初計画の基本方針であった積立金の取崩しがない財政収支構造には至らず、収入減をはじめ物価高騰や最低賃金の上昇などもあり、今なお経営は厳しい状況です。

こうした状況を踏まえ、これまでの計画取組み継続や新たな収支改善を見据えた、「第 2 期宮津市社会福祉協議会財政健全化・経営安定化計画」を策定し、次の目標達成に向け本会財政状況の安定化に向け取り組んでいきます。

＜目 標＞ 宮津市社会福祉協議会の財政健全化と経営の安定を目指す

＜重点目標＞

1. 宮津市社会福祉協議会の役割の明確化
2. 基金取崩しがない財政収支構造
3. 宮津市社会福祉協議会に対する宮津市補助金の増額
4. 職員の育成及び職場づくり

＜個別目標＞

① 収入に関する取組み

- 1) 会費及び寄付金
- 2) 補助金及び受託金
- 3) 社協事業及び介護保険事業
- 4) 段階的な基金取崩しのルール化
- 5) その他（収入に繋がる取組み強化）

② 支出に関する取組み

- 1) 人件費の削減
- 2) 事業費、事務費の削減
- 3) 助成金等の削減

③ その他の取組み

- 1) 財政状況チェック機能の強化
- 2) 本会行動指針の取組み実施
- 3) 情報発信の強化
- 4) 職員の育成及び職場づくり

< 目 標 >

宮津市社会福祉協議会の財政健全化と経営の安定を目指す

< 重点目標 >

1. 宮津市社会福祉協議会の役割の明確化

日本における社会情勢の変化、少子高齢化により、私たちの暮らしにおいても個々が抱える課題の複雑化や多岐にわたる課題が顕著となっています。

宮津市の地域福祉推進の中核を担う本会として、今後の福祉の動向をはじめ「第2期宮津市地域福祉計画」や「本会行動指針」などを踏まえ、改めて本会の役割である地域福祉推進に重点を置くため事業の見直しを行い、事業の拡充や採算が取れない事業は廃止を行いながら取組みを進めます。

2. 基金取崩しがない財政収支構造

以前は必要な額だけ基金を取崩す経営（約1,000万円/年）でしたが、令和2年度から「第1期宮津市社協財政健全化・経営安定化計画」に沿って、段階的な基金の取崩しを行ってきました。

結果、基金取崩額に一定の歯止めをかけることができましたが表面的な対応に過ぎません。

今なお経営が厳しい中で、基金取崩では収支のバランスがとれず、不足分は繰越金を充当し対応しているのが現状です。今後、繰越金が不足し基金取崩額増加の恐れや経営を圧迫することが懸念されるため、個別目標に掲げている収入増や支出削減に向けた取組みを一層進め基金取崩しがない財政支出構造を目指します。

なお、令和6年3月末時点で、取崩し可能な基金残額は2,400万円です。

< 基金取崩し状況（各年度末の状況） >

（単位：千円）

	H30	H31/R1	R2	R3	R4	R5
取崩額	25,000	12,580	6,820	1,500	3,000	3,000
基金残額	50,900	38,320	31,500	30,000	27,000	24,000
備 考	事務所移転	入浴車車庫	財政計画遂行、コロナ禍			

< 繰越金残額（各年度末の状況） >

（単位：千円）

	R2	R3	R4	R5
繰越金残額	20,625	16,656	9,102	5,416

3. 宮津市社会福祉協議会に対する宮津市補助金の増額

営利を目的としない本会にとって収入を確保する手段は乏しく、「第2期宮津市地域福祉計画」に記載されているように、宮津市の地域福祉推進を図るためにも、本会への人件費及び事業費の補助金の確保と増額が大きな課題です。

特にボランティア振興事業は、地域福祉を推進するうえで重要な役割を担っている一方で、収益を生み出す事業はなく、不足分は全て本会の自己負担であり経営悪化の要因になっています。

また人件費の補助率は、事業委託費等の人件費分を除いての補助率であることから、事業受託をしても必ず本会の自己負担が発生する仕組みであり、経営の圧迫と職員の業務負担が増大している状況です。

また法人運営事業の事業費は、本会自主事業に対し補助していただいておりますが、一部の自主事業のみであり、改めてこれら事業費の見直しと根拠を含め補助金の増加を要望します。

< 市補助率 >

年度	法人運営 (人件費(事業費))	ボランティア振興 (人件費+事業費)	外出支援サービス (人件費+事業費)	市老連事務局 (人件費)
H30	会費収納額 140% (50%)	50%	50%	—
R1	50% (50%)	50%	50%	—
R2~	50% (70%)	70%	70%	50%

4. 職員の育成及び職場づくり

現在、本会に勤務する職員は12名(正規及び会計年度任用職員)です。しかし職員の平均年齢は49.7歳(R6.12月末)と高く、将来を見据え持続可能な計画的な組織体制づくりが必要です。

また複雑多岐化する福祉課題等に対し、職員の対人援助技術や専門知識向上に向けた育成、介護事業所においては介護職員等の不足や職員の高齢化が顕著であることから、事業や収益を増やすためには職員の確保と体制づくりが必要です。

その他、職員が心身ともに健康であることが利用者をはじめ良いパフォーマンスへと繋がること、また業務評価制度を創設し、職員がやりがいを持つことや働きやすい職場づくりを進めます。

< 体制 (令和6年12月10日現在) >

職員数	36名(実人数)	
本会職員	12名	平均年齢49.7歳(正規8名:48.5歳)
	(正規職員8名、会計年度任用職員4名(内1名再雇用含)) 事務局長、総務課2名(正1、任1)、地域課6名(正3、任3)、事業課3名(正3)	
事業協力職員	24名(実人数、兼務職員あり)	
	生活支援員7名(実5名)、運転協力員5名、非常勤ヘルパー8名、入浴スタッフ6名(実5名(介護1、看護師4))、きらりん1名	

<個別目標>

① 収入に関する取組み

1) 社協会費及び寄付金

令和2年度から「第1期宮津市社協財政健全化・経営安定化計画」に沿って、普通会費を800円から1,000円に値上げを行いました。

また特別会費は、令和3年度から新たな加入促進に向けた取組みを行い、企業訪問の強化や社協広報紙に企業広告の無料掲示を行うなど収入増へと繋がりました。

しかし、人口減少に伴い年々会費が減収していること、また普通会費以外の会費は据置していたことから賛助会費・特別会費・団体会費の値上げを行い収入確保に向け取組みます。そのためにも引続き会費が宮津市の地域福祉向上に活用されていることを啓発しながら市民へ協力と理解を求めていきます。

また、寄付金は令和3年度から、寄付金増収の新たな取組みとして市外や他府県等で活躍されている方へ「ふるさと宮津に対する寄付金」を呼びかけ増収へと繋がりましたが、あくまでも善意による寄付であり、年度によって収入差があるため引続き寄付金増加に向けた取組みが必要です。

< 社協会費納入状況 >

(単位：千円)

会費	R1	R2	R3	R4	R5
普通会費 (1,000円以上)	4,626	5,612	5,562	5,242	5,207
賛助会費 (1,500円以上)	436	453	453	449	373
特別会費 (3,000円以上)	357	327	547	561	563
施設会費 (府社協規程)	125	129	79	68	73
団体会費 (2,000円以上)	49	52	55	43	47

< 寄付金の状況 >

(単位：千円)

	R1	R2	R3	R4	R5
寄付金	1,867	819	1,316	1,265	574

※ R3 指定寄付の2,000万円は除く

2) 補助金及び受託金

重点目標に掲げている「3. 宮津市社会福祉協議会に対する宮津市補助金の増額」に取り組むこと、また本会が果たすべき役割を見据えたうえで、内部で事業精査を行いながら必要な事業は積極的に受託し地域福祉の推進及び増収に向け取り組んでいきます。

< 補助金の状況 >

(単位：千円)

科目	R1	R2	R3	R4	R5
宮津市補助金	16,140	17,500	17,712	16,088	17,162
府補助金	-	-	-	-	1,067
府社協補助金	481	445	519	465	5,150
共同募金配分金収入	3,716	3,341	3,542	2,973	2,764

< 受託金の状況 >

(単位：千円)

科目	R1	R2	R3	R4	R5
宮津市受託金	7,898	10,460	10,418	9,696	10,235
府社協受託金	4,607	6,191	6,242	9,814	5,732

3) 社協事業及び介護保険事業

本会全ての事業の見直しを行い、拡充や廃止を行いながら重点目標に掲げている「1. 宮津市社会福祉協議会の役割の明確化」の取組みを進めます。

また介護保険事業等公的なサービスについては、年々利用者の減少と介護職員等の不足によりサービス提供を行う体制が整わず厳しい経営が続いています。障害福祉サービス事業においても、同行援護事業（目が見えない方の外出支援）は、コロナ禍で外出する機会が減ったことや高齢化に伴い経営悪化へと繋がっています。

今後、介護保険事業等全体シュミレーションを行いながら経営状況を常に確認し、採算が見込めない場合は民間への移行や事業の廃止に向けた見直しを行います。

< 介護事業等の収支の状況 >

(単位：千円)

事業名	R1	R2	R3	R4	R5
訪問介護事業	12,956	11,891	12,643	12,133	10,775
介護予防・日常生活総合事業	3,048	5,114	4,721	5,559	6,302
訪問入浴介護事業	13,452	9,676	9,077	6,971	6,449
居宅介護支援事業	8,859	8,850	8,889	1,961	閉鎖
第1号通所事業	-	-	-	2,072	2,085
障害福祉サービス事業	6,513	5,471	4,070	2,692	2,548

4) 段階的な基金取崩しのルール化

重点目標に掲げている「2. 基金取崩しが無い財政収支構造」の取組みを進めます。

5) その他（収入増に繋がる取組み強化）

本会マスコットキャラクター「みやっぴー」を活用した啓発活動やグッズの販売を行います。

本会事業を実施するにあたり人材確保は必要です。引続きハローワークだけでなく就職フェアへの積極的な参加を図り人材確保に取組みます。

② 支出に関する取組み

1) 人件費の削減

職員は、第1期計画期間（令和2年4月1日から令和5年3月末まで）に計5名の職員（定年退職により正規職員1名、会計年度任用職員4名）が退職しました。職員数は減少し以降、人件費削減のため職員の正規職員の新規採用は行っていません。引続き、退職者が出ない限り職員採用は見送ります。

役員報酬・役職手当は令和2年度から削減を実施し、今後も継続します。また管理職や一定の年齢に達した職員の昇給抑制等を行い、管理職手当についても一部削減を行いながら人件費の削減します。

< 職員（各年度4月1日現在） >

（単位：人）

職種	R1	R2	R3	R4	R5	R6
正規職員	11	9	9	9	8	8
会計年度任用職員	5	7	6	4	4	4
非常勤ヘルパー	11	9	9	9	9	9
入浴スタッフ	8	7	7	7	6	6
生活支援員	8	8	7	6	6	7
運転協力員	5	5	4	4	4	5
計（兼務含）	48	45	42	39	37	39

< 役員報酬・役職手当の見直し >

（単位：千円）

各手当	R1	R2	R3	R4	R5	R6
役員報酬	780	460	460	460	460	460
常務理事手当	-	-	-	180	-	-
局長手当	108	0	0	0	240	348
次長・課長手当	864	480	480	480	200	288
計	1,752	940	940	1,120	900	1,096

2) 事業費、事務費の削減

引続き、事務及び事業経費の削減を意識し取組みます。

< 事業費・事務費の状況 >

（単位：千円）

科目	R1	R2	R3	R4	R5
事業費	9,988	9,520	8,501	8,953	8,559
事務費	8,167	8,383	8,280	7,753	7,765

3) 助成金等の削減

第1期計画時に、福祉団体やふれあいサロン活動等の助成金の削減や廃止を行ってきました。削減や廃止等により一定の効果はありましたが、近年サロン活動数が増加し助成金交付額が増加しており、改めて助成金交付等の見直しや削減を行います。

< 助成金等交付状況 >

(単位：千円)

項目	R1	R2	R3	R4	R5
ボランティアグループ助成	294	80	72	72	72
福祉協力校活動助成金	330	330	189	297	297
支会活動助成金	1,340	876	710	714	677
支会活動補助金	865	76	88	390	282
ふれあいサロン活動助成金	777	603	292	250	552
その他助成金	1,343	1,391	1,565	1,336	1,622

③ その他の取組み

1) 財政状況チェック機能の強化

社協事業や財政状況等のチェック機能強化を図るため、理事会や評議員会、宮津市行政に対しわかりやすい資料や管理会計（予算・決算資料を作成）を提供し、理解と協力を求めています。

また、本会経営委員会を立ち上げ、第2期本会財政健全化・経営安定化計画遂行に対し進捗状況の確認や今後の本会の在り方、方向性の検討を行いながら内部強化と適切な組織経営を目指します。

2) 本会行動指針の取組み実施

重点目標に掲げている「1. 宮津市社会福祉協議会の役割の明確化」の取組みを進めます。

3) 情報発信の強化

広報活動として、「社協・ボランティアだよりみやづ」、「ホームページ」、「SNS」等多様な広報媒体により随時情報発信が行い広報活動の強化を進めています。

また本会マスコットキャラクター「みやっぴー」のグッズ販売を行いながら、本会の広報活動に役立っています。引き続き、市民参加や活動紹介を行いながら、身近で親しいやすい情報提供の発信を心がけ、組織や活動への理解を深めていきます。

4) 職員の育成及び職場づくり

重点目標に掲げている「4. 職員の育成及び職場づくり」の取組みを進めます。

< 5年間 収支状況及び各サービス区分の状況 >

これは本会の5年間の「収支状況」です。

ただし一部記載されていない項目もありますので実際の決算額と異なります。また本会の会計は14サービス区分に分かれており、そのサービス区分の総額がこの「全体収支状況」となっています。

(千円単位のため千円未満の端数の関係により数字に誤差があります)

<全体収支状況>

(単位：千円)

項目	R5	R4	R3	R2	R1/H31
会費	6,263	6,568	6,697	6,573	5,594
寄附金	574	1,215	1,316	819	1,867
補助金	26,144	19,733	21,899	23,354	20,538
受託金	15,967	19,514	16,660	16,652	12,506
事業収入	4,295	4,642	5,439	4,710	4,200
介護保険事業収入	25,613	28,991	35,331	35,533	38,315
障害福祉サービス事業収入	2,548	2,692	4,070	5,471	6,513
受取利息配当金	338	379	389	384	384
その他の収入	153	116	102	154	199
収入計	81,900	83,854	91,906	93,654	90,119
人件費支出	66,160	71,759	75,041	73,368	79,603
事業費支出	8,559	8,953	8,489	9,520	10,074
事務費支出	7,765	7,753	8,280	8,383	8,081
助成金支出	4,104	3,760	3,319	3,359	4,950
負担金支出	10	10	10	10	10
支出計	86,599	92,237	95,140	94,641	102,719
差引き収支	▲4,699	▲8,382	▲3,234	▲987	▲12,599

<14サービス区分ごとの収支状況>

ここからは、14サービス区分の主な事業概要と5年間の収支状況を記載しています。

第2期財政健全化経営安定化計画を進めるにあたり、重点的な取組みが必要なサービス区分については、現状や課題、今後の取組みについて記載をしています。

1. 法人運営事業

本会が本来実施している地域福祉を推進するための事業です。活動の財源は、市民の皆様等からお世話になっている社協会費や寄付金、宮津市等からの受託金や補助金が主な財源となっています。地域福祉活動を推進するため、14地区全てに「社協地区支会」を組織し住民主体の福祉活動を実施していただいています。主な活動は公民館等を利用した「ふれあいサロン活動」で身近な場所で、助けあいやつながりづくり、見守り活動を進めながら安心して暮らせる地域づくりを進めています。その他にも様々な取組みを実施しています。

(主な取組み)

- 社協地区支会組織の支援
- ふれあいサロン活動
- 生活支援整備体制事業
- 暮らしのかけ橋事業
- 高齢者見守り支援事業
- はままちカフェ事業
- 居場所づくり事業「みんなおいでえなあ」
- 生活困窮者自立相談支援事業
- 一人暮らし高齢者誕生日訪問事業
- 宮津市老人クラブ連合会事務局

(現状と課題)

- ・法人運営事業の主な収入は、宮津市から法人運営事業の人件費 50%と一部事業費 70%、老人クラブ連合会事務局の人件費 50%です。しかし、法人運営事業の人件費 50%は、受託事業や補助事業の人件費を除いての 50%補助であることから、本会の自己負担が必ず発生する仕組みとなっており、いくら事業を受託等しても解消されない仕組みです。
- ・職員を増員する財源がないことから、既存職員への業務負担が大幅に増えています。
- ・地域福祉活動の主な財源は、市民の皆様からお世話になっている社協会費です。令和 2 年度に普通会費を値上し一時増収となりましたが、人口減少もあり会費収入等は年々減少しています。

(取組み)

- ・本会は地域福祉の中核的な役割を果たしていることから、宮津市の地域福祉を衰退させないためにも、強く補助金の交付方法を含め宮津市へ要望します。
- ・現在の補助金交付や職員体制では、新たな受託事業等を受けることは困難であり、今後も受託事業等については内部で慎重な精査を行います。
- ・既存事業について、事業拡充や廃止を含め見直しを行います。
- ・地域福祉活動推進のため、賛助会費や特別会費、団体会費の値上げを図り財源確保に取り組めます。

(単位：千円)

項目	R5	R4	R3	R2	R1/H31
会費	6,263	6,568	6,697	6,573	5,594
寄附金	574	1,215	1,316	819	1,867
補助金	11,634	9,769	11,492	11,175	11,909
受託金	5,741	5,820	4,781	3,790	2,741
事業収入	86	99	262	102	64
受取利息配当金	108	148	173	168	168
その他の収入	153	116	96	149	157
収入計	24,562	23,737	24,819	22,778	22,503
人件費支出	21,057	23,172	20,122	18,599	24,025
事業費支出	1,820	1,795	1,145	560	1,630
事務費支出	2,068	2,525	2,286	2,261	2,161
助成金支出	1,394	1,132	899	858	1,931
負担金支出	10	10	10	10	10
支出計	26,350	28,635	24,463	22,290	29,757
差引き収支	▲1,788	▲4,897	355	488	▲7,254

2. 共同募金配分金事業

毎年10月から「赤い羽根共同募金運動」、12月からは赤い羽根共同募金の一環で新年を明るく迎えるための「歳末助けあい運動」が実施されています。毎年、市民の皆様等からお寄せいただいた募金は全て次のような活動の財源として活用しています。

(内容)

○赤い羽根共同募金配分金事業

- ・地域を良くするための活動助成金
- ・福祉団体への活動助成金 など

○歳末助けあい運動

- ・年末高齢者見守り支援事業
- ・障がい児・者支援事業
- ・歳末買い物支援サービス事業
- ・ひとり親家庭クリスマス交流会 など

(現状と課題)

- ・人口減少等もあり年々募金額は減少しています。

(取組み)

- ・募金額増額に向けた活動の理解や広報による情報発信強化に取り組めます。また街頭募金啓発に力を入れ募金額増収に向け取り組めます。
- ・実施事業や補助金交付については、拡充や削減、廃止を含め見直しを行います。

(単位：千円)

項目	R5	R4	R3	R2	R1/H31
補助金	2,764	2,973	3,542	3,341	3,716
収入計	2,764	2,973	3,542	3,341	3,716
事業費支出	1,251	1,641	2,036	1,511	1,448
助成金支出	1,513	1,331	1,506	1,830	2,007
支出計	2,764	2,973	3,542	3,341	3,455
差引き収支	0	0	0	0	261

3. ボランティア振興事業

宮津市におけるボランティア活動を推進するため、ボランティア意識の向上や人材育成、ボランティアグループ等の活動支援や活動拠点の整備などを行っています。

主な活動としてボランティア講座やイベントの開催、児童や学生、企業への福祉教育を通じた関わりや取組みを行っています。

また近年、各地で発生する災害支援を行っており、宮津市においても過去3回台風等の水害に対して災害ボランティアセンターの設置し、ボランティアを受入れ被災された世帯へボランティアを派遣し片付け等の支援を行うなど被災地の復旧復興支援活動を行ってきました。

(主な取組み)

- ボランティア活動の支援（人材育成、相談、派遣調整、活動拠点等）
- 宮津市内のボランティアグループ等の活動支援
- 市内の幼稚園や保育所（園）への助成事業（子どもと地域つながり助成事業）
- 市内小中高等学校への福祉協力校支援事業（講話、車いすや高齢者疑似体験等）
- 社会福祉法人との連携事業 ○支援が必要な観光客への支援事業
- 被災時における災害ボランティアセンター設置運営・支援
（復旧に向けた活動支援、ボランティアの受入れ・被災地災害ボランティアへ職員派遣）

(現状と課題)

- ・現在、宮津市から人件費及び事業費をそれぞれ 70%補助があります。しかしボランティア振興事業は収益が全くない事業であり、残り 30%は本会の自己負担であり例年赤字が続き経営を圧迫しています。

(取組み)

- ・社協経営を圧迫している要因の1つであり、このままでは事業実施の継続が困難であることから引き続き補助金増額の要望を行います。その要望が困難な場合は、宮津市へボランティア振興事業を返すなど見直しを行います。
- ・既存事業については、事業拡充、削減や廃止を含め見直しを行います。

(単位：千円)

項目	R5	R4	R3	R2	R1/H31
補助金	3,379	4,460	4,464	4,522	3,124
その他の収入	0	0	0	5	17
収入計	3,379	4,460	4,464	4,527	3,141
人件費	3,836	4,818	5,692	4,703	4,569
事業費	412	577	473	664	470
事務費	132	131	272	502	128
助成金	369	369	285	442	784
支出計	4,750	5,896	6,724	6,312	5,952
差引き収支	▲1,371	▲1,436	▲2,260	▲1,784	▲2,810

4. 福祉サービス利用援助事業

京都府社会福祉協議会の受託事業で、認知症や障害等により判断能力が不十分な方と契約を結び、日常の金銭管理や福祉サービスの利用手続き等を支援する相談事業です。

(単位：千円)

項目	R5	R4	R3	R2	R1/H31
受託金	4,274	4,261	4,291	4,295	3,451
事業収入	1,726	1,798	2,249	2,177	1,513
収入計	6,000	6,059	6,540	6,472	4,965
人件費	5,289	6,331	6,541	5,920	4,400
事業費	492	260	298	518	211
事務費	218	192	242	199	371
支出計	6,000	6,784	7,082	6,638	4,983
差引き収支	0	▲725	▲541	▲166	▲17

5. 生活福祉資金貸付事務受託事業

京都府社会福祉協議会の受託事業で、目的に応じた資金の貸付を行うことで世帯の自立を図ることのための貸付資金です。令和2年度から新型コロナウイルスの影響等により生活が厳しい世帯へ「コロナ特例貸付事業」が新たに開始されました。現在は、貸付返済相談や今なお生活が厳しい世帯に対する支援として「コロナ特例貸付フォローアップ事業」を補助事業として受け、相談対応を行っています。

(単位：千円)

項目	R5	R4	R3	R2	R1/H31
受託金収入	5,709	4,963	1,951	1,896	1,156
収入計	5,709	4,963	1,951	1,896	1,156
人件費支出	5,066	4,191	1,722	1,482	708
事業費支出	409	544	205	212	197
事務費支出	6	0	0	0	22
助成金支出	228	228	228	228	228
支出計	5,709	4,963	2,155	1,922	1,156
差引き収支	0	0	▲204	▲25	0

6. 居宅介護等事業（ホームヘルパー）

介護保険サービス事業で、「訪問介護事業」と軽度の方には「介護予防・訪問介護事業」を実施しており、在宅へホームヘルパーを派遣し家事援助や身体介護のサービスを提供しています。

(現状と課題)

- ・収入を増やしていくためには、利用者の確保と介護職員の確保いずれもが必要です。しかし今後人口減少が益々進む中で、これらを解消していくことが今後の事業経営が課題です。

(取組み)

- ・介護保険事業等公的なサービス事業は全ては、今後の社会情勢の変化やサービス利用者の状況や収支など事業シュミレーションを行いながら経営状況を確認し、採算が見込めない場合は民間への移行や事業の廃止に向け、見直し行います。

(単位：千円)

項目	R5	R4	R3	R2	R1/H31
介護保険事業収入	17,077	17,936	17,364	17,005	16,004
補助金収入	9	23	0	734	23
収入計	17,087	17,959	17,364	17,739	16,027
人件費	14,817	16,074	12,405	14,569	14,443
事業費	719	721	746	1,066	1,074
事務費	1,361	1,256	1,052	820	1,072
支出計	16,898	18,052	14,205	16,456	16,590
差引き収支	189	▲93	3,159	1,282	▲562

7. 障害福祉サービス事業

障害の方へ、ホームヘルパー派遣による家事援助等のサービス提供や目が見えない方の外出を支援する同行援護事業（ガイドヘルパー派遣）を実施しています。

(現状と課題)

- ・コロナ禍であったことや利用者自体が高齢化により外出の機会が減ったことで経営悪化となっています。介護保険事業のホームヘルパーが兼務をしており、職員不足により急なガイドヘルパーの依頼に対応できないことも収入減となっています。

(取組み)

- ・介護保険事業等公的なサービス事業は全ては、今後の社会情勢の変化やサービス利用者の状況や収支など事業シュミレーションを行いながら経営状況を確認し、採算が見込めない場合は民間への移行や事業の廃止に向け、見直し行います。

(単位：千円)

項目	R5	R4	R3	R2	R1/H31
障害等事業収入	2,548	2,692	4,070	5,471	6,513
事業収入	15	0	0	0	0
収入計	2,563	2,692	4,070	5,471	6,513
人件費	2,579	4,260	4,865	3,658	4,349
事業費	280	286	359	367	354
支出計	2,860	4,547	5,225	4,025	4,704
差引き収支	▲296	▲1,854	▲1,155	1,445	1,808

8. 居宅介護支援事業（ケアマネ）

例年、赤字経営であったことから令和5年度に事業を廃止しました。

（単位：千円）

項目	R5（廃止）	R4	R3	R2	R1/H31
受託金	0	17	0	348	7
介護保険事業収入	0	1,961	8,889	8,850	8,859
収入計	0	1,978	8,889	9,198	8,866
人件費	0	0	8,991	9,076	8,733
事業費	0	27	381	727	642
事務費	0	325	833	664	1,012
支出計	0	353	10,205	10,468	10,388
差引き収支	0	1,625	▲1,316	▲1,270	▲1,522

9. 訪問入浴介護事業

介護保険サービス事業で在宅で寝たきり高齢者の方を中心に、訪問入浴車で自宅を訪問し、利用者が寝ている部屋で浴槽を準備しスタッフ3名でお風呂を提供するサービスです。

与謝野町からは受託事業として重度障害の方へのお風呂の提供も行っており、障害の方へもサービスを提供しています。

（現状と課題）

- ・利用者の減少により例年赤字が続き経営を圧迫しています。介護度の高い方は施設入所をされることが多いこと、またターミナルの利用者が多いことから、今後も大幅な利用者増が見込めないこと、またスタッフも不足しています。

（取組み）

- ・介護保険事業等公的なサービス事業は全ては、今後の社会情勢の変化やサービス利用者の状況や収支など事業シュミレーションを行いながら経営状況を確認し、採算が見込めない場合は民間への移行や事業の廃止に向け、見直し行います。

（単位：千円）

項目	R5	R4	R3	R2	R1/H31
受託金	2,004	2,087	3,260	4,296	2,743
事業収入	12	43	23	25	24
介護保険事業収入	6,449	7,021	9,077	9,676	13,452
収入計	8,466	9,153	12,362	13,999	16,219
人件費	7,791	8,163	10,777	11,457	14,065
事業費	848	980	1,140	2,524	2,516
事務費	1,193	1,017	1,223	788	984
支出計	9,833	10,161	13,141	14,770	17,567
差引き収支	▲1,367	▲1,008	▲779	▲771	▲1,347

10. 地域ささえあいセンター管理運営

宮津市から指定管理を受け「宮津市地域ささえあいセンター」の管理運営を行っています。
物価高騰等の影響により維持管理に必要な経費を確保しつつ、引続き管理運営を行っていきます。

(単位：千円)

項目	R5	R4	R3	R2	R1/H31
受託金	2,840	2,376	2,382	3,207	2,408
収入計	2,840	2,376	2,382	3,207	2,408
事業費	135	135	135	135	135
事務費	2,705	2,241	2,247	3,072	2,273
支出計	2,840	2,376	2,382	3,207	2,408
差引き収支	0	0	0	0	0

11. 外出支援サービス事業

主に公共交通機関の利用が困難な利用者に対し、自宅から1市2町（宮津市・伊根町・与謝野町）の病院間の送迎を行う通院送迎サービス事業（福祉有償運送サービス事業）で、運輸局の許可を得て実施しています。福祉車両（車いす対応車）もあり利用者の状況に応じて送迎を行うことができます。

（現状と課題）

- ・宮津市から人件費及び事業費それぞれ70%の補助があります。令和2年度に年会費と利用料を値上げし収支改善を行ってきました。

（取組み）

- ・物価高騰やガソリン代の高騰もあり、事業経費が増えています。引続き宮津市へ事業費補助の増額を引続き要望し安定した事業実施に向け取組みます。
- ・運転手の確保が困難ですが引続き運転手の確保に努め、事業運営の安定化に取組みます。

(単位：千円)

項目	R5	R4	R3	R2	R1/H31
補助金	3,756	2,474	2,400	2,400	1,786
事業収入	2,455	2,724	2,904	2,405	2,598
収入計	6,211	5,198	5,304	4,805	4,384
人件費	4,900	3,784	3,922	3,901	4,307
事業費	1,188	1,148	1,566	1,231	1,392
事務費	80	63	122	73	55
支出計	6,169	4,996	5,611	5,207	5,755
差引き収支	42	201	▲306	▲401	▲1,370

12. ボランティア基金

ボランティア事業を推進するため、活動財源を基金利息による運用を目的として資金募集をした基金であり取崩すことはできません。基金は約5,400万円あります。

現在、国債を購入し運用をしていますが、引続き基金利息による活動資金確保を行います。

(単位：千円)

項目	R5	R4	R3	R2	R1/H31
受取利息配当金	216	216	216	216	216
収入計	216	216	216	216	216
支出計	0	0	0	0	0
差引き収支	216	216	216	216	216

13. いきがい・助け合い基金

令和3年9月に財団法人さわやか福祉財団の故堀田力会長様から2,000万円の指定寄付金を頂戴し、同年11月に「宮津市民いきがい・助け合い基金」を創設しました。

これは新規活動の立上げ資金として、年間100万円を上限に取崩しを行い、1団体当たり最大10万円を上限に助成を行う事業です。

(単位：千円)

項目	R5	R4	R3	R2	R1/H31
受取利息配当金	14	14	0		
収入計	14	14	0		
助成金支出	600	700	400		
支出計	600	700	400		
差引き収支	▲585	▲685	▲400		

14. 第1号事業サービス

毎週土曜日の午前中に、地域ささえあいセンターで介護予防を目的に実施しています。主に介護度の軽い方を対象とした事業で、令和2年9月から宮津市の受託事業として開始し、令和4年度からは事業所指定となり本会で運営しています。

(現状と課題)

- ・介護職員が不足していることから地域課職員等にも協力をお願いし、事業運用を行っていることから職員の負担が増えています。

(取組み)

- ・介護保険事業等公的なサービス事業は全ては、今後の社会情勢の変化やサービス利用者の状況や収支など事業シュミレーションを行いながら経営状況を確認し、採算が見込めない場合は民間への移行や事業の廃止に向け、見直しを行います。

(単位：千円)

項目	R5	R4	R3	R2	R1/H31
事業収入	2,085	2,072			
収入計	2,085	2,072			
人件費	822	962			
事業費	1,001	833			
支出計	1,823	1,796			
差引き収支	262	276			

< その他 >

● 取り組みの経過

※ 宮津市社会福祉協議会財政健全化・経営安定化計画策定委員の委嘱

・ 令和6年10月1日委嘱（任期2年：令和6年10月1日～令和8年9月30日）

① 第1回 第2期宮津市社会福祉協議会財政健全化・経営安定化計画策定委員会

- ・ 令和6年10月30日開催
- ・ 委員長、副委員長の選出
- ・ 第2期宮津市社会福祉協議会財政健全化・経営安定化計画の策定概要（案）について

② 第2回 第2期宮津市社会福祉協議会財政健全化・経営安定化計画策定委員会

- ・ 令和7年1月23日開催
- ・ 宮津市社会福祉協議会財政健全化・経営安定化計画（案）について

③ 第2期宮津市社会福祉協議会財政健全化・経営安定化計画中間（案）パブリックコメントの実施

- ・ 令和7年2月7日（金）～令和7年2月28日（金）まで実施
- ・ 「ホームページ」、SNSの活用により実施
- ・ 宮津市、本会窓口で紙媒体により実施
- ・ 宮津市議会、宮津市自治連合協議会、宮津市民生児童委員協議会、宮津市ボランティア連絡協議会、宮津市老人クラブ連合会、宮津市身体障害者団体連合会ほか本会評議員・理事・監事へ紙媒体により実施

④ 第3回 第2期宮津市社会福祉協議会財政健全化・経営安定化計画策定委員会

- ・ 令和7年3月 日開催
- ・ パブリックコメントの実施結果について
- ・ 第2期宮津市社会福祉協議会財政健全化・経営安定化計画（最終案）について
- ・ 今後のスケジュールについて

● 今後の進め方

- ・ 令和7年3月 宮津市長への申し入れ
第2期宮津市社会福祉協議会財政健全化・経営安定化計画策定
- ・ 令和7年3月 宮津市社会福祉協議会理事会への報告
宮津市社会福祉協議会評議員会への経緯報告及び具体的提案を行う
- ・ 令和7年4月 第2期宮津市社会福祉協議会財政健全化・経営安定化計画の遂行
宮津市社会福祉協議会経営委員会の設置

● 委員会構成

第2期宮津市社会福祉協議会財政健全化・経営安定化計画策定委員名簿（敬称略）

氏名	所属	備考
○角 茂 一	宮津市社会福祉協議会副会長	宮津市自治連合協議会 会長
黒 岡 芳 子	宮津市社会福祉協議会理事	宮津市地域女性の会 会長
小 奥 光 朗	宮津市社会福祉協議会理事	社会福祉法人北星会 事務局長
辻 村 範 一	宮津市社会福祉協議会理事	宮津市健康福祉部 部長
濱 野 一 朗	宮津市社会福祉協議会評議員	宮津市民生児童委員協議会 吉津地区常務
品 川 洋 子	宮津市社会福祉協議会評議員	宮津市ボランティア連絡協議会 副会長
◎久 保 浩	宮津市社会福祉協議会評議員	宮津市議会産業建設福祉委員会 委員長
山 口 孝 幸	宮津市社会福祉協議会評議員	宮津商工会議所 専務理事

（◎委員長 ○副委員長）

オブザーバー

北 尾 尚 子	京都府社会福祉協議会	地域福祉・ボランティア振興課 課長
---------	------------	-------------------